

## 資料に関する補足説明

議事 1 イノシシの生息状況調査結果について（速報）について	
資料 1	<p><b>2022 年度渥美半島野生イノシシ生息調査結果（速報）</b></p> <p>資料 1 に記載のとおり。</p> <p>8～11 月の撮影頻度については、昨年同時期と比べ減少している。</p> <p>REST モデルによる推定した生息密度（11 月時点）について、大山南部、特に大山南西部（ユニット 3）で昨年と比べ、大きく増加している。</p> <p>一方で、大山北部では減少しており、特に大山北西部（ユニット 1）については、根絶に近い状態になっている。</p> <p>なお、今回記載している REST モデルにより推定した生息密度について、最新の知見に基づき、過去の状況についても推定し直している。</p>
議事 2 イノシシ捕獲に係る取組状況について	
資料 2	
資料 2－1 参考資料 1	<p><b>1 野生イノシシの捕獲頭数の（速報）の推移</b></p> <p>資料 2 に記載のとおり。</p> <p>昨年度と比べ、渥美半島ほぼ全域で、捕獲頭数が増加しているが、田原市の赤羽根や田原東部では減少している。</p> <p>生息頭数が回復傾向にあるなか、赤羽根については生息頭数の減少、田原東部については、捕獲圧の低下が考えられる。</p>
資料 2－2	<p><b>2 捕獲イノシシの年齢査定の結果</b></p> <p>資料 2 に記載のとおり。</p>
参考資料 2	<p><b>3 その他</b></p> <p>愛知県内における野生イノシシの豚熱陽性個体の発見状況について、2022 年度は 12 月末時点で 17 例確認されており、2021 年度の 7 例と比べ増加している。</p> <p>2022 年度の愛知県内の地域ごとの野生イノシシの捕獲頭数（速報）の 12 月までの累計値について、西三河地域を除き、2021 年度同時期と比べ増加している。西三河地域について、2022 年度に豚熱の陽性個体が散見されている豊田市は前年度同期と比べ減少しているが、それ以外の市町については前年度と増加もしくは同程度となっている。</p>

<b>議事 3 効果的捕獲促進事業の実施状況について</b>	
資料 3	<p>2022 年度効果的捕獲促進事業の実施状況について 資料 3 に記載のとおり。</p> <p><b>1 移動式囲いワナ</b> 2022 年 11 月から田原市大草地区と和地地区において、実施している。</p> <p><b>2 簡易柵による囲い込み捕獲</b> 2023 年 1 月下旬に簡易柵を設置し、柵で囲い込んだ区域内で猟犬等を用いて銃猟による捕獲を実施予定。</p>
<b>議事 4 その他</b>	
参考資料 3	<p><b>1 2022 年度第 2 回渥美半島野生イノシシ捕獲根絶協議会の会議録</b> 参考資料 3 のとおり。</p> <p><b>2 次回の協議会</b> 3 月に対面にて開催する予定</p>